

表示・起源分析技術研究懇談会 第8回講演会

プログラム(速報版)

平成24年11月28日(水)

大田区産業プラザ・PiO



◆ 受け付け開始 9:30～

◆ 開会挨拶 10:30～10:40

◆ 特別講演1 10:40～11:40

「既存添加物の基原識別法」

国立医薬品食品衛生研究所 生活衛生化学部第二室 室長 秋山卓美

◆ 口頭発表1 11:40～11:55

「多元素安定同位体比分析を用いた小麦粉の産地判別の可能性」

独立行政法人農研機構・食品総合研究所 食品分析研究領域 分析ユニット 鈴木彌生子

◆ 口頭発表2 11:55～12:10

「DNAチップを用いた複数一括分析技術」

東洋製罐株式会社 新規事業部 國正英彦

== 昼食休憩 (12:10～13:40) ==

企業展示

◆ ポスター発表 13:40～15:00

P1 みりん市販品の炭素安定同位体比分析

独立行政法人酒類総合研究所 品質・安全性研究部門 伊豆英恵

P2 食品中のホウ素同位体による産地判別—判別のための基礎研究—

東京理科大学 理学部応用化学科 中井研究室 今井晶子

P3 高分解能ICP-MSを用いたコーヒー豆の微量元素及びSr同位体比分析の併用による産地判別力向上の可能性

東京理科大学 理学部応用化学科 中井研究室 土田英央

P4 核酸クロマト型チップによる遺伝子組換えトウモロコシ検査法の検討

株式会社ファスマック 遺伝子検査事業部 緒方京子

P5 炭素・酸素安定同位体比による天然ビタミンCと合成ビタミンCの判別の可能性

日本認証サービス株式会社 分析事業部 検査課 安定同位体比分析G 河邊亮

P6 単一検出器型ICP-MSによる高精度な同位体分析法の開発

東京理科大学 理学部応用化学科 中井研究室 島村佳典

P7 遺伝子組換えトウモロコシの混入率を正確に評価するグループテスト法の開発

株式会社ファスマック 布藤聡

P8 ICP-MS測定の試料処理に関する簡便法の検討

首都大学東京 理工学系 化学コース 三原正三

P9 Stable isotope analysis of tea (*Camellia sinensis* L) in Japan and China: A possible method for adulteration, geographic origin and tea types discrimination

首都大学東京 理工学系 化学コース 韓強

== 休憩 (15:00~15:15) ==

企業展示

◆ 口頭発表3 15:15~15:30

「決定理論を考慮したタマネギの産地判別法の改良」

独立行政法人農林水産消費安全技術センター 表示監視部鑑定課 中村哲

◆ 口頭発表4 15:30~15:45

「元素分析によるシジミ類の原産地判別法の開発」

独立行政法人農林水産消費安全技術センター 表示監視部技術研究課 井口潤

◆ 口頭発表5 15:45~16:00

「Current prospects and applications of position-specific ¹³C isotope ratio determination」

東京工業大学大学院総合理工学研究科 化学環境学専攻吉田研究室 Alexis GILBERT

== 休憩 (16:00~16:20) ==

企業展示

◆ 特別講演2 16:20~17:20

「食品表示一元化の検討方向について」

消費者庁 食品表示課 企画官 平山潤一郎

◆ 閉会挨拶 17:20~17:30

◆ 懇親会 18:00~20:00



*プログラム(速報版)では口頭発表、ポスター発表については発表者のみの記載となっております。何卒ご了承下さい。